

### (1)エイズ関連の質問

HIV/STD 関連知識、リスク認知  
HIV 感染不安の有無（過去 1 年間）  
HIV 抗体検査受検の有無（過去 1 年間）

**HIV/STD 関連知識：**HIV/STD 関連の知識項目では、わが国におけるエイズの流行状況に関する質問、HIV ウイルスの感染経路に関する質問、HIV 抗体検査に関する質問および STD に関する質問をしているが、特にわが国では、性風俗産業のうち、“非ホンバン産業”と通称される膣性交を伴わない口や手でペニスを刺激する形態の性産業がかなりの部分を占めており、また、予備調査でオーラルセックスをセックスと見なしていない人が多いことが気付かれたため、オーラルセックスで性器から口にあるいは口から性器に STD が感染することに関する知識の質問を加えた。

**HIV 抗体検査：**HIV 抗体検査の質問に関しては、単に受検率を調べるだけでなく、感染不安の質問を HIV 抗体検査受検に関する質問のフィルター質問として配置した。それにより、術前検査や妊娠時の検査など受動的な検査との区別や、感染不安を持ったのに実際には検査を受けなかった人の割合を調べることを可能とするよう配慮した。

### (2) 一般的質問

性別、年齢、学歴、職業、収入、  
結婚歴、配偶者の有無（配偶者の年齢、学歴、職業）  
同居の家族数、子供の有無と年齢  
配偶者の親との同居の有無  
居住地域、居住年数

**一般的質問：**このセクションはいわゆるデモグラフィック要因に関する質問をするフェイスシートの部分である。通常、フェイスシートは調査票の最初あるいは最後のどちらかに配置するが、今回は、性行動という極めてデリケートな内容の調査であり、対象者が質問紙の途中の性行動の部分で回答を放棄するおそれがあり、また質問の数がかなり多いことから後に行くにつれて正確な回答が得られにくい可能性も考えられたため、フェイスシートははじめの部分に配置した。このセクションで特徴的なことは、日本の文化および限られた住環境が性行動に与える影響を調べるために、夫婦とその親との同居あるいは寝室を共にするような乳幼児の存在の有無を尋ねている点である。

### (3) 思春期(13-15 歳)の環境

思春期のセックスに関する知識の情報源  
思春期に、家庭でセックスの会話をする雰囲気があったか  
思春期の、家庭の性関係に対する厳格さ  
両親の職業、兄弟姉妹の有無、暮らしていた地域（都会か田舎か）  
初めて一人暮らしした年齢  
初めて賃金をもらう仕事をした年齢

**思春期の環境：**思春期の環境が性行為に与える影響を見るため、上記のファクターについて質問をした。

#### (4) 性行動

(導入部分)

セックスに対するイメージ

性経験の有無 (フィルター質問)

初めてのセックス\*

過去1年間のセックス\*

過去1年間のセックス経験の有無 (フィルター質問)

過去1年間の相手の総数、同時進行、セックスの頻度

過去1年間のラブホテルの利用の有無と回数

- 『決まった相手』とのセックス (過去1年間)
- 『不定期の相手』とのセックス (日本国内、過去1年間)
- 『金銭を介したセックスの相手』とのセックス (日本国内、過去1年間)
- 海外での性経験 (過去1年間)

一番の最近のセックス\*

\*各時期のセックスに関して、相手がどのような人か、人数、性別、年齢、セックスの頻度、セックスのタイプ別の行為の有無とコンドーム使用状況、セックスの場所等に関する質問をした。(詳細は本稿末に添付した調査票を参照)

生涯の性経験について

妊娠について (女性のみ)

**性行動:** 性行動のセクションは、この調査票全体の約 60% (16 ページ/27 ページ) を占める。

- ① **質問の流れ:** まず、性行動の質問の流れは時間の流れに従って、“初めてのセックス”に関して最初に質問し、次に記憶が比較的新しい“過去1年間のセックス”に関して相手別行為別に詳細な質問をした。さらに最も記憶が確かな“一番最近のセックス”に関してはそのコンドーム使用状況について使用/未使用の理由や具体的な使用の様子、使用中のトラブルまでを詳しく尋ねた。また最後に、生涯の性経験に関しては、記憶が不確実と思われるため人数と性別を聞くだけに留めた。各々の性行動に関する質問の最初には、必ずフィルター質問を設け、その性行為の経験のない人が不必要に答えることのないようにした。
- ② **性行為の相手:** 次に性行為の相手別の情報であるが、本調査は面接法ではないため、過去の性行為を相手別に思い出していくという作業を対象者自身が一人で行わなければならない (面接では面接員が現在ほどの相手との性行為について質問をしているかを確認しながら質問を進めることが可能である)。比較的記憶の新しい過去1年間の性行為の相手全員についての情報が得られれば詳しいネットワーク分析が可能であるが、自記式調査では困難なため、われわれは、まず性行為の相手を3種類に分類し、その分類ごとに性行為の内容や相手に関する情報を質問するという形式をとった。過去1年間の国内の相手としては、『決まった相手』(ほぼ定期的にセックスをしている相手を意味し、この中には配偶者、婚約者、恋人などが含まれる)と、『不定期の相手』(決まった相手以外の相手で金銭の授受を介していない相手で、この中には友人、顔見知りの人、たまたま出会った人などが含まれる)、『金銭を介したセックスの相手』(金銭を介してセックスを行った相手)とに大きく3分類し、これに海外での性経験に関する質問を加えた。通常、欧米の自記式性行動調査では性行為の相手は、**regular partner** と **non-regular partner** の2つに分けて質問を行うが、予備調査の結果からわが国における売買春の経

験率が欧米諸国に比べかなり高いことから、我々は日本人の性生活における売買春の占める割合と感染リスクとの関係を調べるために『金銭を介したセックスの相手』を『不特定の相手』の分類に含めず独立させた。また、第1次予備調査の時点では、結婚という社会的枠組み（制約）が性行為に及ぼす影響を調べるために、相手の分類を(1)配偶者等、(2)配偶者等以外、(3)お金を払ったり、もらったりしてセックスした相手の3つのカテゴリーに分類していたが、諸外国の調査結果との相互比較が可能なように、結婚という枠組みではなく、性行為の周期性からの分類に変更した。

質問の進め方としては、セックスの相手の分類別に質問を進めていくが、その分類に属する相手がいない場合は、そのセクションの質問を飛ばし、次の相手の分類へと進むことができる。最初に『決まった相手』から順に質問をしていくが、まず、過去1年間の『決まった相手』の人数を尋ね、相手が一人の場合は、その一人についてその後の質問に答えてもらう。もし、相手が複数の場合は、その中で過去1年間にセックスの回数が最も多かった人を“代表”に選び、以下の問いにはその人について回答してもらうことにした。一人だけを代表とすることについては、議論の余地のあるところだが、セックスの相手全員について詳しく聞けば調査票が膨大になること、自記式法で全ての相手のそれぞれについて詳しく想起することは困難と思われたため、情報量はやや少なくなるが、一人に限定することにした。一方、『不特定の相手』および『金銭を介したセックスの相手』に関しては、セクシャルネットワークの範囲や方向性およびリスク行為の程度を知るには、より広範囲な情報が必要であると考えられたため、『決まった相手』の場合とは異なり、人数を限定せずに、相手が複数いた場合には、そのまま複数の相手の情報を複数回答で答えてもらう方式を採用した。また、セックスの相手の数に関する質問は、過去1年間全体の相手数を聞いた後に、セックスの相手のタイプ別のセクションで、各タイプ別の相手数を分けて聞くなど、質問を重複させ、回答の一貫性をチェックした。

- ③ **クニリングス**：初期の予備調査の段階では、HIV 感染リスクのみに重点をおいていたため、クニリングスに関する質問は除外していたが、クニリングスによる HIV 以外の STD 感染リスクは全くないわけではないことから、最終稿ではフェラチオ・クニリングスの両方に対する質問を行った。
- ④ **コンドーム**：コンドームに関する質問では、実際にコンドームを着用するのは男性であることから、単に“コンドームを使用しましたか。”という質問では女性の使用率が低く出る傾向があるため、本調査票では、“あなたまたは相手がコンドームを使用しましたか。”という尋ね方をした。
- ⑤ **ラブホテル**：セックスの場所として、特にラブホテルだけを区別してその利用状況を聞いているが、これは、ラブホテルというわが国独特のセックスの施設の利用状況の把握と、その施設を利用した予防介入研究の可能性を検討するためである。
- ⑥ **ワーディング(言葉使い)**：質問のワーディングであるが、既存の海外の調査(英・米・仏)とは異なり、我々の調査は面接法ではなく面前自記式法であるため、専門用語は避け、できるだけ平易で一般的な用語を使用した。たとえば、“膣性交”という言葉が読めない対象者もいたため(注：予備調査の対象者の中に調査員に“膣”の読み方を尋ねたという報告が数件あった)、膣という言葉には振り仮名をつけ、さらにどのような行為を意味するのか具体的に記載し、セックスという言葉には日本語訳(性交渉)を併記した。また、フェラチオやクニリングスなどオーラルセックスのカタカナ文字の使用は避け、“オーラルセックス”は“口を使ったセックス”とし、フェラチオやクニリングスも

それぞれ、“男性の性器（ペニス）（あるいは女性の性器）を口や舌で刺激する行為”と定義した。さらに、各個人が使用するセックスに関する用語は、年齢層、社会階層、地域によりかなりの多様性があると思われるため、各層に偏らない中立的で善悪の価値観を含まない用語を使用し、また今回の調査が興味本位の調査と受け取られないことがないよう、できる限り公的調査にふさわしい用語を選択した。次に、性行為やセックスの相手の定義に関しては、対象者がわかりやすいように、その言葉が質問中に現れるたびに（言葉の定義を調べるために前に遡って見なおす必要がないように）、その都度、“注意”（黒地に白抜き）という見出しで、ゴシック体、カラー印刷（薄緑の背景で目立つようにした）で言葉の定義を記載した。

#### (5) ピルに対する知識・意識

ピルの認知度

ピルの作用・副作用に関する質問

ピル使用に対する態度（一般論としての賛否）

賛成の理由、反対の理由

ピル使用希望（実際の本人意思）

使用希望の場合、コンドーム使用に対する影響

**ピルに関する質問：**1999年の6月、わが国でも低用量経口避妊薬（ピル）が認可され、同年9月には一般市場に出回った。30-40年以上前から、ピルは世界各国で使用されているが、わが国はHIV流行後にピルが認可される世界で唯一の国となった。また、他の国々と異なり、わが国のこれまでの主要な避妊方法がコンドームであったことから、いわば副次的に性感染症（STD）やHIVの予防がある程度なされてきたと思われるが、ピルの登場は、わが国の性行動およびSTD/HIVの流行に大きな影響を与えると思われるため、それらの予防は根本的な見直しを迫られている。したがって、ピル認可直前のピルに対する知識・意識およびコンドーム使用状況を把握することは極めて重要なことであると考えられる（注：本調査は1999年6-7月に実施された）。

ピルの作用・副作用に関する質問では、大学生に対する予備調査で、かなりの割合の大学生が“ピルでHIV/STDが防げない”という基本的な知識が欠落していたことから、この質問を加えた。また、ピル使用に対する態度では一般論としての使用賛否と実際のピル使用意思を別々に尋ねた。さらにピル使用希望者には、ピル使用の際にコンドーム使用をどうするかを質問した。

#### (6) STD罹患状況

過去1年間のSTDと診断された経験の有無（フィルター質問）

STD罹患回数・病名

**STD関連質問：**STD罹患状況は、期間をどの範囲にするか（生涯、過去5年、過去1年）あるいは全て尋ねるか様々な案を考えたが、全体の質問数の制約から、期間は1つに限定することとし、記憶の確かさ、および性行動に関する情報（過去1年について最も詳細な質問をしている）収集と時期を合わせるため、STD罹患の該当者数は減少するが、過去1年に期間を限定することとした。

### (7) 性的被害

これまでに性的被害の経験があったか（フィルター質問）  
被害の内容、被害にあった最初の年齢

**性的被害**：性的被害には、ちかん行為も含めているが、女性だけでなく男性への被害も把握するために、質問の冒頭に黒地に白抜きで男女とも答えるように注意を促す表示を加えた。

### (8) 性的娯楽、性的指向、性モラル

過去1年間の性的娯楽経験の有無  
性的指向  
性モラル・態度（未成年者・未婚者のセックス、婚外交渉、売買春など）

**性的娯楽、性的指向、性モラル**：性的指向に関しては、選択肢を単に男性、女性、両方の3種類に限定するのではなく、ほとんどの場合女性、ほとんど場合男性という中間的な選択肢を追加した。また、本調査票では英国の調査票のように、異性とのセックスあるいは同性とのセックスというカテゴリー分類して質問するという方法はとらず、相手の性別にかかわらずどちらでも答えられるように調査票を設計し、相手の性別を最後に尋ねる形式をとった。また、性モラルの質問に関しては、わが国の性規範のダブルスタンダードの程度を調べるために、未成年者のセックス、未婚者のセックス、既婚者の不倫、売買春など全ての項目について、その行為を男性が行った場合、女性が行った場合に分け、その許容度を調べた。

### (9) エイズ関連の質問

現在のエイズ関連の報道は十分か  
必要とするエイズ関連情報は何か

**エイズ関連質問**：最後に、調査の目的を再確認してもらう目的でエイズ関連質問を配置した。

### その他全般的な注意事項

- ① **分岐質問の飛び先**：その他、第1次予備調査で特に無回答、誤回答が多かった質問について分析した結果、フィルター質問後の飛び先で混乱し、正しく飛び先へといけず、無回答になっていた例がかなり見られた。そこで、同一ページ内でのとび先に関しては、言葉で説明するのではなく、濃い矢印で表示し、単に矢印に従えばよいように設計した。一方、数ページ離れたとび先への表示は、フィルター質問の選択肢にとび先のページ数と★印つけ、とんだ先のページで迷わないように、質問を再開すべき点を★印で表示し、文字だけでなく視覚的にもわかりやすいようにデザインした。
- ② **言葉の定義**：また、同じく予備調査から、言葉の定義の読み忘れによる誤回答も見られたことから、言葉の定義は薄い緑色の背景にゴシック体で注意の表示を入れ、読み忘れがないように配置し、さらに言葉の定義を前に遡って調べる必要がないように質問の都度、何度も定義を繰り返し示した。また、セクションの区切りは緑色の背景に“これから・・・について質問します。”という言葉を入れ、セクションが変わったことがすぐわかるように配慮した。
- ③ **質問数**：質問数に関しては、質問数が多過ぎると調査への参加率（回収率）が少なくな

る可能性があり、また仮に調査に応じて記入の途中で集中力が続かなくなり調査票の最後まで質の高い回答を期待することが難しくなる可能性があるため、自記式での記入時間としては約30分までが限界であると考え、質問は性行動の中でも特にHIV/STD感染リスクの観点からの質問に数を絞った。したがって、今回の調査票には、マスターベーションやオルガスムスに関する質問は含まれていない。最終的な質問数は、72問+サブクエスチョンであった。

- ④ **レイアウト**：全体のレイアウトに関しては、一般にページ数の増加は対象者に負担感を与える反面、質問を1ページに詰め込み過ぎると、質問が読みづらくなるため、質問間には適度な余白を残し、全体としてすっきりした印象となるようにした。また、選択肢は横に並べると紙面の節約になるが、選択の範囲が一目でわかるように、なるべく縦に配置した。

最後に、本 MKBQ-gp1 調査票は開発に約2年間の歳月を費やし、3回の予備調査の結果を基に度重なる修正、試行錯誤を繰り返した。性行動という極めてプライベートで答えにくい内容を全国規模でしかも自記式法で調査するという制限の中で、できる限り質の高い調査票になるように努めたにもかかわらず、調査票の印刷直後から、既に1-2の改善すべき箇所が見つかっており、調査票開発の難しさを痛感している。今後、我々の経験を基に、この MKBQ-gp1 調査票を、わが国で大規模性行動調査を実施する際の参考にしていただければ幸いである。

## 大学生用調査票(MKBQ-univ.1)の開発について

次に MKBQ 調査票シリーズ大学生編 (MKBQ-univ.1) の調査票の概要と特徴を述べる。MKBQ-univ.1 調査票の開発にあたっては、国内の一般集団およびオーストラリアのニューサウスウェールズ大学・国立エイズ社会調査センターで作成した大学生用の調査票を一部参考に、わが国独自の社会、文化的背景および大学生という状況を考慮し開発を行った。調査票の検討のために関東の2つの大学でプリテストを行い、対象学生のコメントを基に修正を加え、国立大学保健管理施設エイズ特別委員会のコメントも一部参考にした。調査票の質問総数は主質問69問+サブクエスチョンで22ページの調査票であった。

まず、MKBQ-univ1 調査票の基本構造から説明を始める。

### (MKBQ-univ.1 調査票の基本構造)

1. 一般的な質問
2. 思春期の環境に関する質問
3. エイズ関連の質問
4. 性行動
5. コンドームに対する意識・態度についての質問
6. ピルの知識・意識に関する質問
7. 性的被害・
8. 性的指向・性モラルに関する質問
9. セックス、HIV/STD の情報および教育に関する質問

MKBQ-univ.1 調査票は上記の構造で、9つのセクションから構成されている。質問の流れは、一般的な質問が一番最初に配置されている以外は MKBQ 調査票と同様である。標準調査票 (MKBQ 調査票) について詳しい説明を行ったので、ここでは、MKBQ 調査票と異なる点のみを述べる。まず、基本的にはほぼ同様の構造、内容および同じ点に注意して開発されているが、違いとしては、対象者が全員大学生であるため、用語は MKBQ 調査票よりも説明を省略していることである (例: 膣性交のふりがなは削除。エイズウイルスは HIV に変更。セックス、オーラルセックス、ペニスなどの日本語訳の削除)。また、フィルター質問の後の飛び先の指示では、★印ではなく 😊 ♡ などユニークな飛び先マークを使用した。

次にセクション毎の相違点を挙げる。まず、一般的的な質問の中では、家族との同居の有無を尋ね、また、コンパや飲み会への参加状況に関する質問、友人 (困った時に相談できる) の有無、サークル活動に関する質問もした。婚姻状況に関する質問もしているが、大学生で結婚している人は極めて数が限られていると考えられるので、一般集団の場合とは異なり、配偶者の属性に関する質問はしていない。次に、エイズや STD のリスク認知に関しては、一般集団に対する場合のように、単にそれらの感染リスクをどの程度感じているかについて尋ねるのではなく、大学生に対しては、今後の性教育の基礎資料になるよう、感染する危険性の高低と、その判断の基準も尋ねた (安全と考えている行為の誤解を調べるため)。次に性行動についての質問では、一般集団との違いとしては、大学生は一般集団に比べセックスを開始してからの期間が比較的短く、性行為の形態も変化しやすい時期であると考えられるので、セックスの頻度は過去1年ではなく、過去1ヶ月の頻度を尋ねた。また、予備調査より、金銭を介したセックスの割合は一般集団に比べ低いため、過去1年間の相手別のセックスについての質問では、『金銭を介した相手』は独立させずに、『その場限りの相手』の中に含めた。また海外でのセックスについての質問もしていない。

さらに大学生に対しては、今後の性教育等の予防介入を考慮し、コンドーム使用に対するイメージ (例: コンドームを持ち歩いている人は遊びなれた人であると思うか)、意識 (どのような相手とのどのような性行為の形態の時にコンドームの必要性を感じているか)、態度 (本人あるいは相手のどちらがコンドームを使うかどうか決めていくか) などに関する質問を加えた。

性的被害に関しては、大学内における被害の状況を把握するために、全般的な被害の有無とさらに大学内での被害経験の有無についても質問した。性モラルの質問に関しては、対象が大学生という若い年齢であるため、彼らと年齢の近い、中学生や高校生のセックスの是非についての考え方も尋ねた。その他今後の予防介入を考え、セックス、性感染症、エイズに関する情報源について、および学校教育の中での性教育の現状に関する質問を入れた。また、調査票の最後に自由回答方式で、HIV/STD の情報提供の場所手段についてのアイデアを募集した。

以下にセクション毎の質問項目を列挙し、MKBQ 調査票と異なる部分には下線を引いた。

## MKBQ-univ.1 調査票

### (1) 一般的な質問

性別、年齢、学部、学年、家族との同居、婚姻状況

コンパ、飲み会の参加状況、友人の有無、数、サークル活動

### (2) 思春期(13-15歳)の環境に関する質問

思春期のころ居住地域、兄弟姉妹の有無と数、家庭のしつけ、両親の職業

### (3)エイズ関連の質問

エイズ/STD 関連知識、HIV 感染者に対する態度  
エイズのリスク認知 判断の理由  
エイズの感染不安 (過去1年間)  
HIV 抗体検査の受検状況  
どこで受検したか、受検しなかった理由は何か  
STD 感染のリスク認知 判断の理由  
STD 罹患状況 (過去1年間)

### (4)性行動

セックスの経験の有無 (フィルター質問)  
これまでのセックスの相手の総数、同時進行の相手、  
既婚者との性経験、過去1ヶ月のセックスの頻度

はじめてのセックス\*

過去1年間のセックス\*

●『決まった相手』とのセックス (過去1年間)

●『その場限りの相手』とのセックス (過去1年間)

一番最近のセックス\*

\* 各時期のセックスに関して、相手がどのような人か、人数、性別、年齢、セックスの頻度、セックスのタイプ別の行為の有無とコンドーム使用状況、セックスの場所等に関する質問をした。(詳細は本稿末に添付した調査票を参照)

### (5)コンドームについての意識・態度

コンドームに対する意識  
セックスの形態および相手別のコンドームの必要性  
コンドーム使用の誰が決めているか

### (6)ピルに関する知識・意識

ピルの認知度、ピルの作用副作用に関する質問  
ピル使用に対する態度 (一般論としての賛否)  
賛成の理由、反対の理由  
ピル使用希望 (実際の本人の意思)  
使用希望の場合、コンドーム使用に対する影響

### (7)性的被害

これまでに性的被害の経験があるか (フィルター質問)  
被害の内容、被害にあった最初の年齢  
大学関係者による性的被害の有無  
どのような人

### (8)性的指向、性モラル

これまでに性的に関心を持ったことのある人の性別  
性モラル・態度

### (9)セックス、HIV/STD の情報および教育



## STD 患者用調査票(MKBQ-std)の開発について

最後に、MKBQ-gp1 調査票シリーズ STD 患者編 (MKBQ-std.) の開発の概略を述べる。前述の大学生用調査票同様、基本的な構造や主要な質問形態、および留意点は一般集団を対象とした MKBQ 調査票に従っている。MKBQ-std. 調査票の開発にあたっては、国内の他集団およびカリフォルニア大学サンフランシスコ校エイズ予防研究センターの STD 患者用の調査票を一部参考に、わが国独自の社会、文化的背景および STD 患者という状況を考慮して開発を行った。調査票の検討のため、大阪の2医療施設でプリテストを行い、翌年、横浜、大阪、北九州の3地域で予備調査を実施した。それらの調査結果を基に加筆修正を繰り返し、調査票の開発を行った。今回の調査も自記式法であり、また、基本的に待ち時間などを利用して医療機関内で記入してもらう形式をとったため、他の調査票に比べ、質問数を抑え、調査票の質問総数は主質問 59 問+サブクエスチョンで 18 ページの調査票となった。まず、調査票の基本構造は下記の7セクションから構成される。

### MKBQ-std.調査票の基本構造

- (1) 受診理由、現在の症状に関する質問
- (2) エイズ関連の質問
- (3) 性行動に関する質問
- (4) ピルの知識・意識に関する質問
- (5) 性モラルについての質問
- (6) 一般的属性に関する質問
- (7) 性感染症の情報に関する質問

質問の流れは、対象者が医療機関受診者であるので、まずはじめに受診の動機、現在の症状に関する質問を配置した。その後の質問の流れは、前述の調査票と基本的に同じであるが、本調査は STD 患者を対象としているので属性を記入することには抵抗感がある可能性も考えられたため、他とは異なりデモグラフィック要因を尋ねる一般的質問は、調査票の後ろに配置した。

次に各セクション毎の質問項目を下記に列挙した。全般的な留意点は MKBQ 調査票と同様であるので、ここでは MKBQ 調査票との相違点のみを述べる。対象者が STD 患者であるので、受診の動機、現在の症状および、STD 罹患後にセックスをしたか、さらには発症後のセックスの相手の数を尋ね、セクシャルネットワークの広がりによる STD 感染拡大の可能性を調べた。また、STD 患者の半数近くは再受診者であるため、今回の受診以前の STD の既往に関する質問をした。一般に、STD 患者集団はその性行動の活発さから、HIV 感染不安も高い可能性があり、また、近年わが国で議論になっている HIV 検査目的の献血の実態を調べるために、過去1年間の献血経験を尋ねた。その際、我々の質問の目的が悟られないように、質問の場所としては HIV 抗体検査に関する質問とは別のページに配置した。また、HIV 抗体検査の受検状況に関しても、本集団の検査の必要性を考え、MKBQ 調査票のように単に HIV 抗体検査受検の有無を尋ねるだけでなく、検査回数、どこで受けたか、受けた地域はどこか、本名を使用したか、感染不安を持ったのに検査を受けなかった理由は何かなど、HIV 抗体検査受検の障壁となるファクターを調べるために詳細な質問をした。この HIV 抗体検査に関する部分は、アメリカ合衆国の CDC で実施されている HIV 抗体検査受検行動に関する調査の調査票を一部参考にし、日本の状況に合致するように作成した。次に、性行動

のセクションでは、一般集団や大学生を対象とした調査では、はじめてのセックスに関してかなり詳しい質問をしているが、本調査票では、過去の性行動よりも現在に近い性行動が特に重要であると考えられ、また質問数の制限もあることから、初めてのセックスに関しては初交年齢と相手がどのような人であったかを尋ねるだけに留めた。また、過去1年間のセックスに関しては、予備調査から本集団では『お金を介したセックス』の割合が極めて多いことが知られていたため、MKBQ 調査票同様、『金銭を介したセックス』を『不定期の相手』には含めず独立させて詳しい質問をした。

以下にセクション毎の質問項目を列挙し、MKBQ 調査票と異なる部分には下線を引いた。

#### MKBQ-std 調査票

##### (1) 受診理由、症状

受診の理由、現在の症状、診断名  
症状が出てからセックスしたか、誰からうつったか  
これまでの STD 既往、回数、病名  
献血の経験（過去1年間）

##### (2) エイズ関連質問

エイズの知識、リスク認知、判断の理由  
エイズ感染の不安（過去1年間）  
HIV 抗体検査受検の有無  
回数、施設、地区、匿名性、検査を受けなかった理由

##### (3) 性行動

初めてのセックス 初交年齢、相手が誰  
過去1年間のセックス\*  
過去1年間のセックスの相手の総数、性別、頻度  
●『決まった相手』とのセックス（日本国内）  
●『不定期の相手』とのセックス（日本国内）  
●『金銭を介した相手』とのセックス  
●海外でのセックス  
一番最近のセックス\*

\*各時期のセックスに関して、相手がどのような人か、人数、性別、年齢、セックスの頻度、セックスのタイプ別の行為の有無とコンドーム使用状況、セックスの場所等に関する質問をした。（詳細は本稿末に添付した調査票を参照）

##### (4) ピルに関する知識・意識

ピルの認知度、作用・副作用の知識  
ピル使用に対する態度（一般論としての賛否）  
賛成の理由、反対の理由  
ピル使用希望（実際の本人の意思）  
使用希望の場合、コンドーム使用に対する影響

(5)モラル： 未成年者のセックス、既婚者の不倫、恋人保有者の不貞、売買春

(6)一般的質問：年齢、性別、居住地域、婚姻状況 学歴、職業

(7)性感染症： STD 情報を何から得たいか、どんな情報が欲しいか

最後に、MKBQ-gp1 調査票、MKBQ-univ 1 調査票、MKBQ-std 調査票は本稿末に添付した。

#### 参考文献

- 1) Johnson, A.M., Wadsworth, J., Wellings, K. and Field, J.: Sexual Attitudes and Lifestyles. Oxford, Blackwell Scientific Publications, 1994.
- 2) Lauman, E.O., Gagnon, J.H., Michael, R.T. and Michaels S.: The social organization of sexuality. University of Chicago Press, 1994.
- 3) ACSF (Analyse des comportements sexuels en France) investigators : AIDS and sexual behavior in France. Nature, 360, 407-409, 1992.
- 4) Sudman, S. and Bradburn, N.M.: Asking questions. Jossey-Bass Publishers. 1982.
- 5) Foddy, W.: Constructing questions for interviews and questionnaires. Cambridge University Press. 1993
- 6) Piccinino, L. and Mosher, W.D.: Trends in contraceptive use in the united states: 1982-1995. Fam. Plann. Perspect., 30(1), 4-12, 1998.
- 7) Touleman, L. and Leridon, H. : Contraceptive practices and trends in France. Fam. Plann. Perspect., 30(3), 114-120, 1998.

# エイズ予防のための基礎調査

平成11年6月

企画 厚生省エイズ予防研究班

実施 (社) 中央調査社

1. このアンケートは、厚生省「エイズ予防研究班」(正式名称：H I V感染症の疫学研究班)による調査です。
2. この調査では、あなたご自身のことについて、大変立ち入った質問を致しますが、調査は無記名であり、調査票はすべて、あなたが記入後ただちに封印の上、そのまま研究班に郵送されますので、その内容が訪問した調査員の目に触れることは一切ありません。

## <記入上のお願い>

1. 問1から順にお答えください。一部の方にだけお答えいただく質問もありますが、その場合は矢印(→)で示していますから、矢印に従ってお答えください。
2. お答えは、あてはまる回答についている太字の数字(1、2……)などを○で囲んでいただく場合、

:
---

の中に数字を記入していただく場合および具体的にご記入いただく場合があります。(なお、③とか⑨などの数字は機械集計の都合から使用しており、お答えの内容とは無関係です。)
3. (○は1つ)という質問では、○は1つにしぼってください。(○はいくつでも)の場合はその指示に従ってください。(どちらかに○)の場合は、必ずどちらかの番号に○つけてください。
4. 「その他」に○をされた場合は、( )の中に具体的なお考えをご記入ください。

- 調査用紙は、ご記入後添付した封筒にご自分で入れて密封し、調査員にお渡しください。もし、不安がありましたら、ご自身で郵便ポストに入れていただいてもかまいません。

厚生省H I V感染症の疫学研究班(行動科学研究グループ)

代 表 : 木原 正博(神奈川県立がんセンター臨床研究所)  
(調査実施機関) 社団法人 中央調査社  
東京都品川区西五反田7-1-1 (03-5487-2314)

この調査につきまして、ご不明の点やお尋ねになりたいことがありましたら、内容により以下の宛先にお問い合わせください。

いずれも、平日の午後1時から午後5時の時間帯にお願い致します。

自分がどうして調査対象に選ばれたか、調査員との日程調整などについてのお問い合わせ



社団法人 中央調査社 管理部  
TEL 03-5487-2314

調査内容、調査の必要性、外国での調査の状況などについてのお問い合わせ



厚生省H I V感染症の疫学研究班  
(行動科学研究グループ)  
TEL 0120-016-991

この研究が本当に厚生省の研究班で行われているかどうかについてのお問い合わせ



厚生省保健医療局エイズ疾病対策課  
エイズ調査係  
TEL 03-3503-1711 (内線2357)

■ まず、エイズや一般の性感染症(性病)についておうえがいます。

問1. 次にあげるエイズや一般の性感染症(性病)に関する情報のそれぞれについて「正しい」「正しくない」「わからない」のいずれかでお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

**注** 『性感染症』とは、性行為で感染する病気で、ここではエイズ以外の一般の性病を意味します。  
**意** 『口を使ったセックス』とは男性の性器や女性の性器を口や舌で刺激する行為を意味します。

	正 し い	正 し く な い	わ か ら な い	
(ア) 最近、わが国のエイズウイルス感染者数は増加している.....	1	2	3	⑪
(イ) 最近、わが国のエイズウイルスの感染経路は性行為によるものが最も多い.....	1	2	3	⑫
(ウ) 治療薬の進歩で、エイズウイルスに感染してから発病するまでの期間を遅らせることができるようになった.....	1	2	3	⑬
(エ) 治療薬の進歩で、エイズを完全に治すことができるようになった.....	1	2	3	⑭
(オ) エイズウイルス感染者が使用した食器を共用すると、エイズウイルスに感染する可能性がある.....	1	2	3	⑮
(カ) エイズウイルス感染者と一緒にプールや風呂に入ると、エイズウイルスに感染する可能性がある.....	1	2	3	⑯
(キ) エイズウイルス感染者を刺した蚊や虫に刺されると、エイズウイルスに感染する可能性がある.....	1	2	3	⑰
(ク) エイズウイルス感染者が使用したトイレを使うと、エイズウイルスに感染する可能性がある.....	1	2	3	⑱
(ケ) エイズウイルスに感染している妊婦から赤ちゃんにエイズウイルスが感染する可能性がある.....	1	2	3	⑲
(コ) 淋病は、性行為で感染する.....	1	2	3	⑳
(サ) 梅毒は、性行為で感染する.....	1	2	3	㉑
(シ) クラミジアは、性行為で感染する.....	1	2	3	㉒
(ス) ヘルペスは、性行為で感染する.....	1	2	3	㉓
(セ) 口を使ったセックスで、口から性器に性感染症(性病)が感染する可能性がある.....	1	2	3	㉔
(ソ) 口を使ったセックスで、性器から口に性感染症(性病)が感染する可能性がある.....	1	2	3	㉕
(タ) 性感染症(性病)にかかっていると、エイズウイルスに感染しやすい.....	1	2	3	㉖
(チ) 健康に見えても、エイズウイルスに感染していることがある.....	1	2	3	㉗
(ツ) 性感染症(性病)の原因となる病原体に感染すると、必ず症状がでる.....	1	2	3	㉘
(テ) 通常のエイズ検査では、感染後数日たてば感染しているかどうかわかる.....	1	2	3	㉙
(ト) 保健所では、名前を言わずに無料でエイズ検査ができる.....	1	2	3	㉚

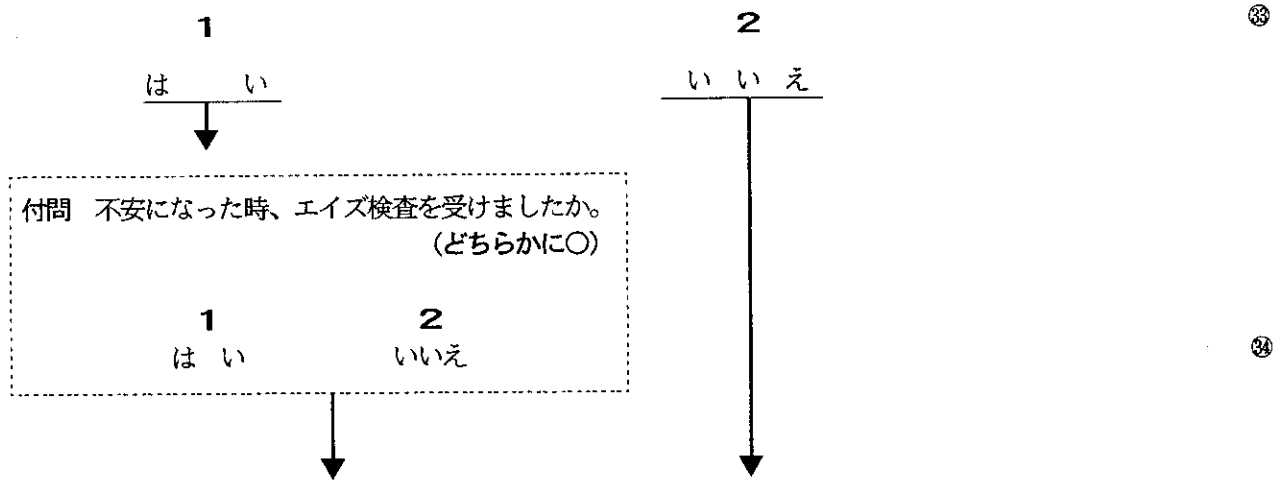
問2. 現在、あなた自身が、セックス（性交渉）によって、エイズウイルスに感染する可能性はどの程度だと思いますか。（○は1つ）

- |               |              |          |              |          |              |                  |            |
|---------------|--------------|----------|--------------|----------|--------------|------------------|------------|
| <b>1</b>      | <b>2</b>     | <b>3</b> | <b>4</b>     | <b>5</b> | <b>6</b>     | <b>7</b>         | <b>8</b> ㉓ |
| まったく<br>ないと思う | 非常に<br>低いと思う | 低いと思う    | 中くらい<br>だと思う | 高いと思う    | 非常に<br>高いと思う | すでに感染<br>していると思う | わからない      |

問3. 現在、あなた自身が、セックス（性交渉）によって、エイズ以外の一般の性感染症（性病）に感染する可能性はどの程度だと思いますか。（○は1つ）

- |               |              |          |              |          |              |                  |            |
|---------------|--------------|----------|--------------|----------|--------------|------------------|------------|
| <b>1</b>      | <b>2</b>     | <b>3</b> | <b>4</b>     | <b>5</b> | <b>6</b>     | <b>7</b>         | <b>8</b> ㉔ |
| まったく<br>ないと思う | 非常に<br>低いと思う | 低いと思う    | 中くらい<br>だと思う | 高いと思う    | 非常に<br>高いと思う | すでに感染<br>していると思う | わからない      |

問4. あなたは、過去1年間にエイズウイルスに感染しているかどうか不安になったことがありますか。（どちらかに○）



■ 次に、あなたご自身とご家族のことについておうかがいします。

問5. あなたの性別は。

- |          |          |
|----------|----------|
| <b>1</b> | <b>2</b> |
| 男   性    | 女   性    |

問6. あなたの年齢は何歳ですか。

		歳
--	--	---

問7. あなたの最終学歴をお答えください。

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>1</b> 小 学 校</p> <p><b>2</b> 中 学 校</p> <p><b>3</b> 高 等 学 校</p> <p><b>4</b> 専 門 学 校</p> | <p><b>5</b> 短大・高専</p> <p><b>6</b> 大 学</p> <p><b>7</b> 大 学 院</p> <p><b>8</b> そ の 他 (                      )</p> |
|---|--|

問7-1 また、卒業・中退・在学中のいずれかに○をつけてください。

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| <b>1</b> | <b>2</b> | <b>3</b> |
| 卒 業      | 中 退      | 在 学 中    |

問8. あなたのご職業は何ですか。パートタイムや内職を含みます。(○は1つ)

- |       |   |
|-------|---|
| 自 営 者 | 1 農林漁業(植木職、造園師を含む)<br>2 商工サービス業(①卸売・小売店・飲食店・理髪店など、従業員が9人以下の会社・商店・団体などの経営者または個人営業主、②アパート経営者)<br>3 その他の自営業(開業医、弁護士事務所経営者、宗教家、著述業、芸術家、茶華道師匠など) |
| 家族従業者 | 4 農林漁業や個人商店など、自分の家族が営む事業を手伝っている者  |
| 企業経営者 | 5 従業員10人以上の会社や団体の経営者(会社社長、団体役員など)   |
| 勤 め 人 | 6 管理職(官公庁、各種団体・組織、会社の課長以上。ただし経営者を除く)  |
|       | 7 専門・技術職(研究者、裁判官、弁護士、勤務医、教員、エンジニア、科学技術者、看護婦、医療技術者など)  |
|       | 8 事務職(事務系会社員、事務系公務員、事務機械のオペレーターなど)  |
|       | 9 販売職(小売店、販売店の店員、外交員など)   |
|       | 10 技能・労務職(運転手、通信士、技能士、消防士、土木建築、生産工程従業者など)   |
| そ の 他 | 11 サービス職(保安業務、理容師、調理師、家政婦など)  |
|       | 12 専業主婦   |
|       | 13 学 生  |
|       | 14 無 職  |

下の★問9へ  
お進みください

(次の付問は、職業をもっている方におうかがいします。)

付問. あなたの98年の年収(税込み)はどれくらいでしたか。(新入社員の方は今年の推定年収をお答えください。)  
(○は1つ)

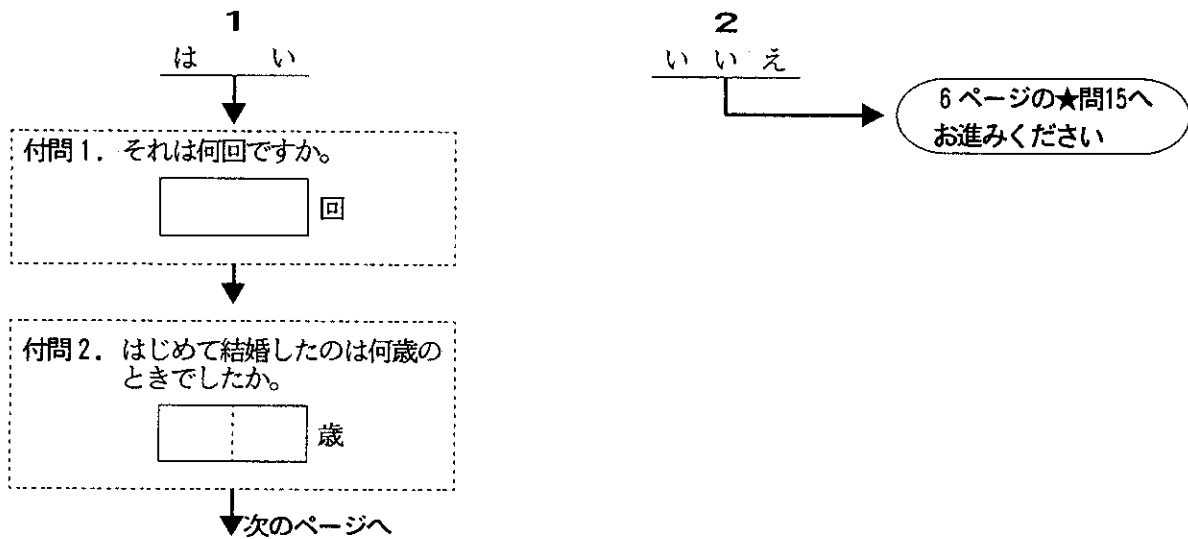
- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1 100万円未満     | 5 750～1,000万円未満   |
| 2 100～300万円未満 | 6 1,000～1,500万円未満 |
| 3 300～500万円未満 | 7 1,500～2,000万円未満 |
| 4 500～750万円未満 | 8 2,000万円以上       |

(全員の方におうかがいします。)

★ 問9. あなたが、1カ月に自由に使っているお小遣いは平均どれくらいですか。住居費、食費などの生活費は含めません。(○は1つ)

- |            |          |
|------------|----------|
| 1 1万円未満    | 4 10万円以上 |
| 2 1～5万円未満  | 5 わからない  |
| 3 5～10万円未満 |          |

問10. あなたはこれまでに結婚したことがありますか。(どちらかに○)







(全員の方におうかがいします。)

★ 問15. 現在、一緒にお住まいのご家族はあなたを含めて何人ですか。

人

50 58

問16. あなたには、現在、同居している子どもはいますか。いる場合、最年少の子どもは何歳ですか。

- 1 いる → 最年少の子供は  歳
- 2 いない

59

60 61

問17. 現在、あなた（あなたの配偶者）の親と同居していますか。（○は1つ）

- 1 同居している
- 2 同居していない

62

問18. あなたが現在、お住まいの市区町村はどこですか。

都 道  
府 県

市 区 郡

63 64  
65 ~ 67

問19. 現在、お住まいの市区町村には通算何年住んでいますか。（○は1つ）

- 1 1年未満
- 2 1～5年未満
- 3 5～10年未満
- 4 10～15年未満
- 5 15～20年未満
- 6 20年以上

68

■ 次に、あなたの思春期（13～15歳の頃）の環境についておうかがいします。

問20. あなたは13～15歳の頃にセックス（性交渉）についての知識をどこ（誰）から得ましたか。（○はいくつでも）

- |           |               |                  |
|-----------|---------------|------------------|
| 1 父       | 7 友人、先輩       | 13 雑誌、週刊誌        |
| 2 母       | 8 近所の知り合い     | 14 マンガ           |
| 3 兄弟      | 9 性交渉の相手      | 15 性についての専門雑誌、本  |
| 4 姉妹      | 10 医師、看護婦、保健婦 | 16 その他（ ）        |
| 5 親類の人    | 11 テレビ        | 17 よく覚えていない      |
| 6 教師や養護教諭 | 12 ビデオ        | 18 その頃はまだ知識がなかった |

69

70

問21. あなたが13～15歳の頃、あなたの家庭ではセックス（性交渉）についての会話をできるような雰囲気がありましたか。（○は1つ）

- 1 あった
- 2 どちらかと言えばあった
- 3 どちらかと言えばなかった
- 4 なかった
- 5 わからない ⑩

問22. あなたの育った家庭は、あなたの友人の家庭に比べ、異性との交際に対して厳しかったですか。（○は1つ）

- 1 大変厳しかった
- 2 どちらかと言えば厳しかった
- 3 どちらかと言えば厳しくなかった
- 4 全く厳しくなかった
- 5 わからない

72

問23. あなたが13～15歳の頃、あなたのご両親の職業は何でしたか。次の中から、父親、母親の職業にもっともあてはまるものをそれぞれ1ずつ○をつけてください。(○は、父親・母親それぞれ1ずつ)

	父 親 ↓	母 親 ↓		
自 営 者	1	1	農林漁業(植木職、造園師を含む)	⑧～⑩=102
	2	2	商工サービス業(①卸売・小売店・飲食店・理髪店など、従業員が9人以下の会社・商店・団体などの経営者または個人営業主、②アパート経営者)	
	3	3	その他の自営業(開業医、弁護士事務所経営者、宗教家、著述業、芸術家、茶華道師匠など)	
家族従業者	4	4	農林漁業や個人商店など、自分の家族が営む事業を手伝っている者	
企業経営者	5	5	従業員10人以上の会社や団体の経営者(会社社長、団体役員など)	⑪⑫ ⑬⑭
勤 め 人	6	6	管理職(官公庁、各種団体・組織、会社の課長以上。ただし経営者を除く)	
	7	7	専門・技術職(研究者、裁判官、弁護士、勤務医、教員、エンジニア、科学技術者、看護婦、医療技術者など)	
	8	8	事務職(事務系会社員、事務系公務員、事務機械のオペレーターなど)	
	9	9	販売職(小売店、販売店の店員、外交員など)	
	10	10	技能・労務職(運転手、通信士、技能士、消防士、土木建築、生産工程従業者など)	
そ の 他	11	11	サービス職(保安業務、理容師、調理師、家政婦など)	
	※	12	専業主婦	
	13	13	学 生	
	14	14	無 職	
	15	15	わからない	
	16	※	父親はいなかった	
	※	17	母親はいなかった	

問24. あなたが13～15歳の頃、兄弟姉妹がいましたか。(同居していなかった人は含みません)(○はいくつでも)

- 1 1人っ子だった
  - 2 兄がいた →  人 ⑮
  - 3 姉がいた →  人 ⑯
  - 4 弟がいた →  人 ⑰
  - 5 妹がいた →  人 ⑱
- ⑲

問25. あなたが13～15歳の頃、暮らしていた地域は、どのようなところでしたか。(○は1つ)

- |        |          |            |         |       |   |
|--------|----------|------------|---------|-------|---|
| 1      | 2        | 3          | 4       | 5     | ⑳ |
| 大都会だった | かなり都会だった | 中くらいの都市だった | やや田舎だった | 田舎だった |   |

問26. あなたは、何歳の時にはじめて一人暮らし(寮などの生活も含める)をしましたか。

<input style="width: 60px; height: 30px; border: 1px solid black;" type="text"/>	歳	1 一度も一人暮らしをしたことがない	㉑㉒㉓
--	---	--------------------	-----

問27. あなたは、何歳の時に初めて賃金をもらう仕事をしましたか。(学生時代のアルバイトは除く)

<input style="width: 60px; height: 30px; border: 1px solid black;" type="text"/>	歳	1 まだ仕事についていない	㉔㉕㉖
--	---	---------------	-----



問34. はじめてのセックス（性交渉）の時、相手の年齢はあなたと比較してどうでしたか。（〇は1つ）

- 1 自分よりも  歳くらい年上
- 2 自分と同じくらい
- 3 自分よりも  歳くらい年下
- 4 わからない

36  
37 38  
39 40

問35. あなたのはじめてのセックスの相手の性別は。（〇は1つ）

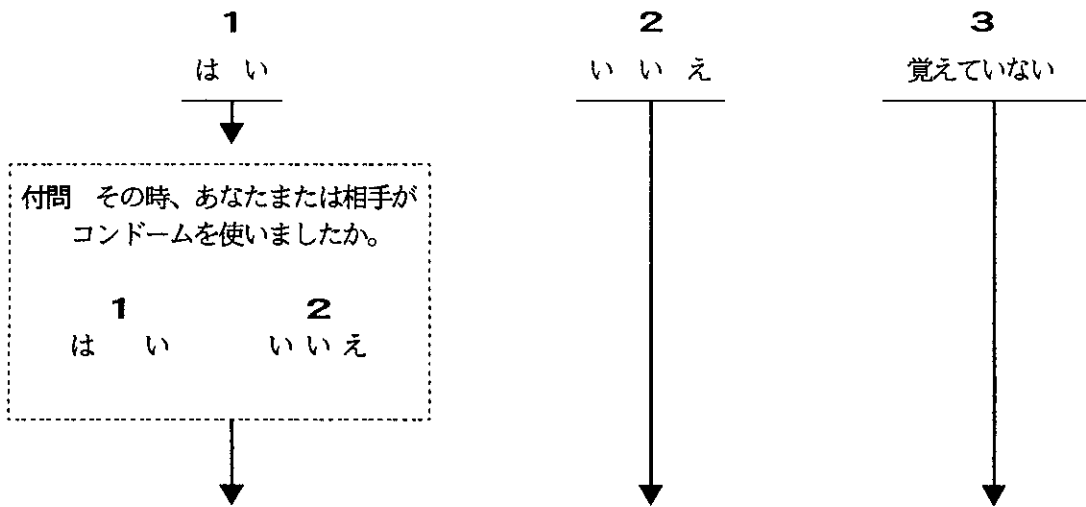
- 1 男性
- 2 女性

41

問36. はじめてのセックス（性交渉）の時、膣（ちつ）性交をしましたか。

（ただし、膣性交とは、男性の性器（ペニス）を女性の性器に挿入する（される）行為を意味します）

（どれかに〇）

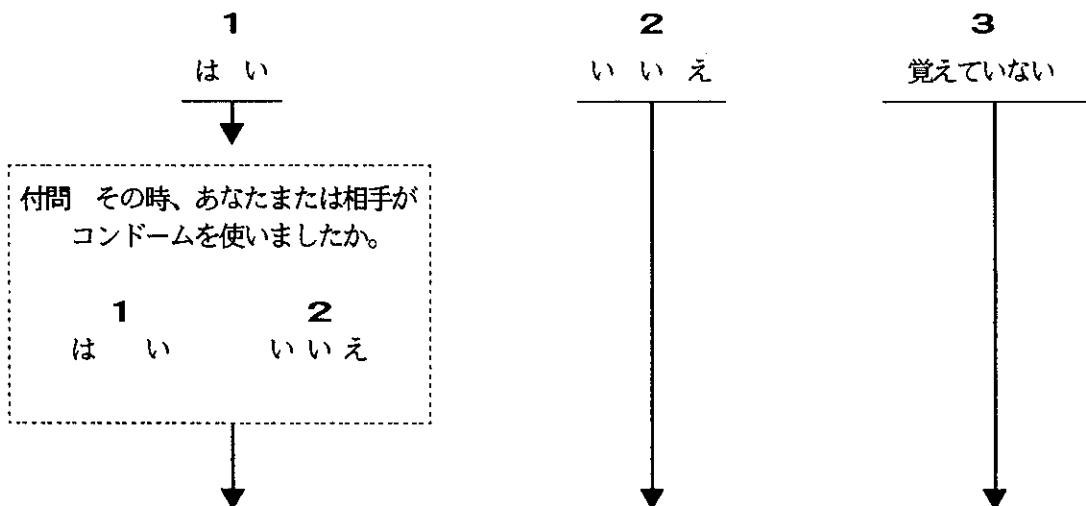


42

43

問37. はじめてのセックス（性交渉）の時、男性の性器（ペニス）を口や舌で刺激する行為をしましたか（されましたか）。

（どれかに〇）



44

45

問38. はじめてのセックス（性交渉）の時、女性の性器を口や舌で刺激する行為をしましたか（されましたか）。

（どれかに〇）

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 覚えていない

46